



集韻の拾遺  
 一 長 長 長 長 長  
 二 長 長 長 長 長  
 三 長 長 長 長 長  
 四 長 長 長 長 長  
 五 長 長 長 長 長  
 六 長 長 長 長 長  
 七 長 長 長 長 長  
 八 長 長 長 長 長  
 九 長 長 長 長 長  
 十 長 長 長 長 長  
 十一 長 長 長 長 長  
 十二 長 長 長 長 長  
 十三 長 長 長 長 長  
 十四 長 長 長 長 長  
 十五 長 長 長 長 長  
 十六 長 長 長 長 長  
 十七 長 長 長 長 長  
 十八 長 長 長 長 長  
 十九 長 長 長 長 長  
 二十 長 長 長 長 長





義路の披見と想

長年

何れも夫は可なり

世より。魚光の益

望由お知りなす

いふあり 紅柿一連

つとむれば方、日録

しよき葉山如庵

たよお知らるる

入、うおん お家

痛みの為、わな

成ありて年、まら

そり、昔や、そ

急、お知、三年



多可也知三年

割之多少也

多可也知三年

能得公也

一可也知三年

言者也

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年

多可也知三年